



ロシアにおける植物遺伝資源の保存と利用の歴史

Vavilov Federal Research Center of Plant Genetic Resources - VIR

Aleksei ZAVARZIN, Yulia UKHATOVA



植物遺伝資源関連の仕事

- **動産化:** ロシアにとって経済的に重要な遺伝資源に的を絞った収集
- **保存:** 植物遺伝多様性の長期保存及び保存技術の近代化
- **研究:** 穀物遺伝資源の複合的な研究及び効果的な植物生産、環境適応のための育種のための新素材の特定；地球上の植物遺伝資源に関する基礎及び応用研究
- **利用:** 経済的に価値のある形質に関する遺伝子、遺伝資源の収集；重点植物種の育種及び改良の基本方針及び技術の確立、新植物の育種



応用植物学部

1894年に農業及び皇帝国家財産省の科学委員会により

- 栽培作物の総合的な研究
- ロシアにおける科学的育種の開始、発展
- 応用植物学部紀要の発刊 (1908年より)を目的として

設立された

初期の部長



Prof. Batalin



Prof. Borodin



Robert E. Regel



Nikolay VAVILOV



1920: Nikolay Vavilov は
応用植物学及び植物育
種部の部長となった:

- 収集活動の促進
- 研究の促進
- 著名な科学者の招聘
- 世界的に認知される
研究センターの確立



Vavilov の収集旅行

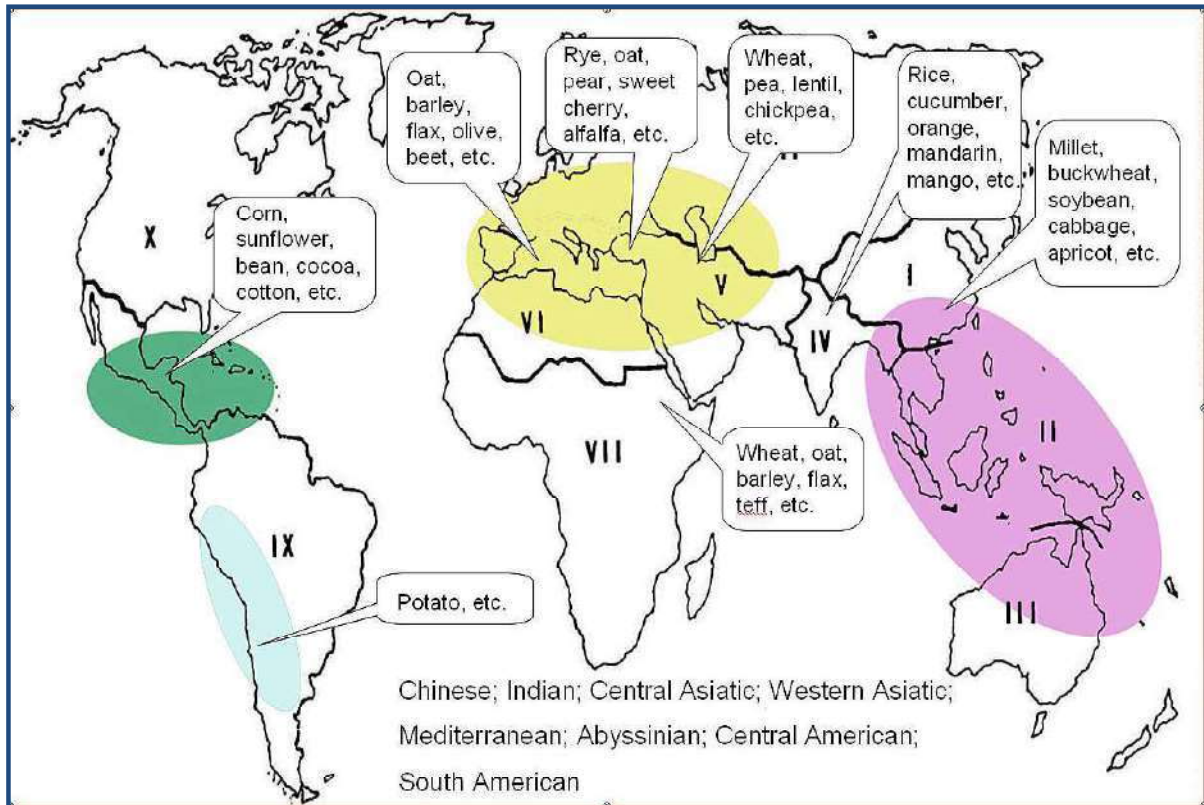
- 1916** イラン
- 1921** カナダ (オンタリオ)、アメリカ合衆国 (ニューヨーク、ペンシルベニア、メリーランド、ヴァージニア、ノースキャルアイナ、サウスキャロライナ、ケンタッキー、インディアナ、イリノイ、アイオワ、ウィスコンシン、ミネソタ、ノースダコタ、サウスダコタ、ワイオミング、コロラド、アリゾナ、カリフォルニア、オレゴン、メイン)
- 1924** アフガニスタン (ヘラット、アフガン トウルキスタン、ガイマーク、バーミヤン、ヒンドークシ、バダキスタン、カフィリスタン、ジャララバード、カブール、カンダハル、バキヤ、ヘルマンド、ファラック、セヒスタン)
- 1925** ホレズム (キヴァ、ノヴィノ ウルゲンチ、グルレン、タシャウズ)
- 1926** 地中海諸国 (フランス、シリア、パレスチナ、トランスヨルダン、アルジェリア、モロッコ、チュニジア、ギリシャ、シシリア、サルジニア、キプロス、クレタ、イタリア、スペイン、ポルトガル、エジプト)
- 1927** アビシニヤ (ジブチ、アディスアベバ、ナイル溪谷、タナ湖)、エリトリア (マッスワ)
イエメン (ホデイダ、ジッダ、ヒジャス)



- 1927** ドイツ (ビュルテンベルク山岳地帯, バイエルン)
- 1929** 中国 (新疆 - カシュガル、ウッチトルファン、アクス、コチャ、ウルムチ、クリョ、ヤルカンド、ホータン)、台湾、日本 (本州、九州、北海道)、朝鮮
- 1930** アメリカ合衆国 (フロリダ、ルイジアナ、アリゾナ、テキサス、カリフォルニア)、メキシコ、グアテマラ、ホンジュラス
- 1932** カナダ (オンタリオ、マニトバ、サスカチュワン、アルバータ、ブリティッシュ コロンビア)
- 1933** アメリカ合衆国 (ワシントン、コロラド、モンタナ、キャンザス、アイダホ、ルイジアナ、アーカンソー、アリゾナ、カリフォルニア、ネブラスカ、ネヴァダ、ニューメキシコ、ノースダコタ、サウスダコタ、オクラハマ、オレゴン、テキサス、ユタ);
キューバ、メキシコ (ユカタン)、エクアドル (コルディリエラス)、ペルー (チチカカ湖、プノ、コルディリエラス山)、ボリビア (コルディリエラス)、チリ (パナマ川)、ブラジル (リオデジャネイロ、アマゾン)、アルゼンチン、ウルグアイ、トリニダド、プエルトリコ



栽培植物の起源の中心

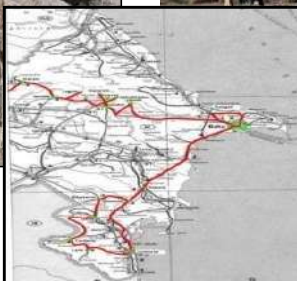


動産化 (Mobilizing) と 保存



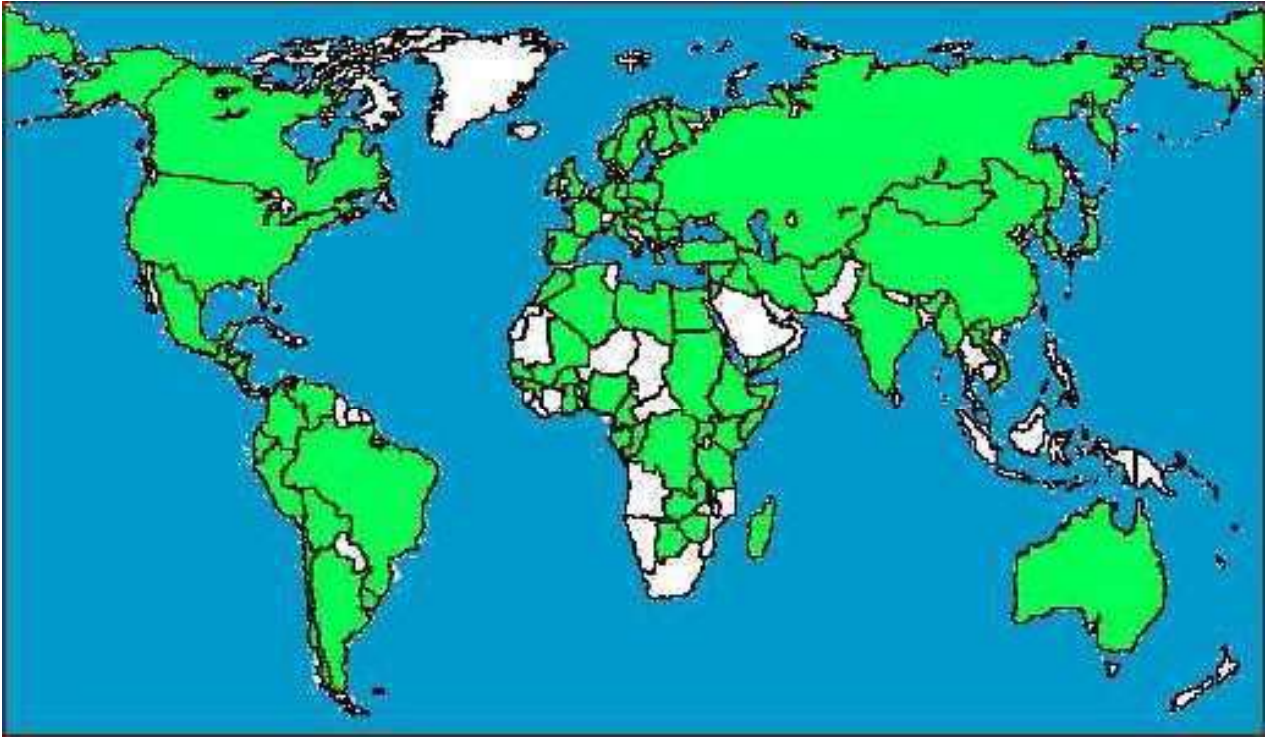
125

- **動産化:** 経済的に意味のある植物の探索と収集を集中する；交換
- **保存:** 植物遺伝資源と近隣野生種の生きている収集物を長期保存すること、及び保存技術の改良





収集を行った地域



バビロフ研の組織

- 遺伝資源部
- 長期保存
- WIR托葉標本
- 基幹施設
- 農場
- 農業図書館

